

謹んで新春の寿ぎを申し上げます



吉野ヶ里歴史公園より脊振山系を望む

吉野ヶ里歴史公園は佐賀県東部に位置し、福岡県境である脊振山地南麓の丘陵地帯に存在している。公園内の遺跡には、竪穴住居、高床住居などが復元されている。弥生人もこの景色を眺めていたと思うと感慨深い。

(嬉野市 新井 良一)

佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
✉ hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

協会会員数

医科 664人
歯科 333人
合計 997人
(11月30日現在)

主な記事

- ・新春ぞいそう……………257面
- ・管理者研修会「患者トラブルを解決する最大のポイントとは?」…8面
- ・医科歯科合同経済セミナー「ドクターのための資産形成セミナー」…8面
- ・保団連11・15国会行動・佐賀県選出国会議員と懇談……………9面
- ・労務管理「4月～5月にある大型連休への対応」……………12面

日本国への小さな提言



会長 藤戸好典

皆さま明けましておめでとうございます。
新しい年の平成31年を大過なく迎えることができましたことはごく当たり前のことであります。本当にこの当たり前な生活を迎えられることが一番幸せなことではないでしょうか。さて5月にはなんという元号を変わるのでしょうか。さくになつてしまつたようです。

佐賀県保険医協会は昨年第37回総会を迎え、念願の会員数千人突破を果たすことができました。地域住民の医療改善運動と保険医の権利と経営を守ることを目的に続けてきた保険医協会の活動が、徐々に医師・歯科医師の先生方に認められてきたまものと役員・事務局員一同素直に大変嬉しく思っております。国民の健康と生命を預かる医師・歯科医師の団体にふさわしい活動をこれからも積極的に進めてまいりたいと思っております。会員の皆さま方のご理解ご協力を今後もよろしくお願いいたします。

さて少子高齢化に歯止めがかからず、人口減少の道を歩み始めた日本には大変な状況が待ち受けていることが想像に難くありません。非正規就労者が全就労者数の40%を超えて、若年層においてはなんと50%を超えているという事実は今後の日本において最大の危機要因ではないでしょうか。その多くは結婚し子供を育て暖かい家庭を築くことができない収入で生活しているのです。つまり当たり前の生活ができるない若者が急増しているのです。

高齢者の人口は今後20年以上増大し続けますから、医療・介護・年金・福祉などの社会保障費は増大し続けます。この増大し続ける社会保障費を一体誰が負担するのでしょうか。非正規職員の負担能力は正規職員より低いため正規職

員にその負担がしづか寄せされることは間違いません。給料が多少増加しても税金や保険料で徴収される額が増大し、実質賃金はかなり減少します。

非正規職員にも正規職員にも明るい未来が描けないのでしょうか。債務残高がGDPと同じくらいの500兆円を超えて今でも日本が沈没しかねないとと言われ続け、消費税導入時や増税時のうたい文句に利用され、いまや1千兆円を超える債務残高となっていますが決して日本沈没など起きそうにもありません。

経営者側に視点を向けると、なんと大企業には年々増大し続ける内部留保が400兆円を超えて存在するといいますから不思議なことです。法人税減税や研究費などの優遇税制で蓄えたのであり、その穴埋めに消費税が利用されたとしても言いようがありません。消費税は決して沈没しかかつた日本を救うためでも、ましてや社会の充実のためでもなかつたのです。非正規労働者を正規にして生活を安定させ税収増加を確実なものとし、法人税減税の見直しを行い税収の増収を図ることで少なくならず明るい日本の将来が見えてきそうな気がします。

さらには高額所得者からの負担原則によると思われます。世界で一番安全な国の中本が、社会の道徳や倫理観・人間関係などが希薄化する税の多発する日本となつてしまふのではないかと思われる。国民のためのお仕事をされている国会議員の皆さまの英知の結集をぜひともお願いいたします。

